

事務事業名	市道南通り線道路新設事業		所属部	建設部	所属課	建設事業課
政策名	総合計画体系	(Ⅱ)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	工務G	課長名	森田 一
施策名		(07)道路網の整備	担当者名	江角 望	電話番号(内線)	0854-40-1063 3741
基本事業名		(018)生活道路の新設・整備	予算科目	会計 款 項 目 中事業	011 410 110 115 012	交付金道路整備事業

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度(16年度~23年度)	本路線は、三刀屋地内に位置し、県道吉田三刀屋線から県道稗原木次線を繋ぐ都市計画道路です。平行する市道下熊谷線の幅員が狭小なため車両の離合が非常に困難で朝夕行き交う小中高通学生徒及び地元住民、更には沿線の保育園児にも危険が及んでいる。平行する2車線道路を新設し交通を分散させ安全性を向上させる道路です。	旧町時代に都市計画道路として決定され平成16年度から二期工事として実施している。

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	事業費	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
・測量設計 1,670千円 ・用地補償 17,119千円(内22線 915千円) ・道路新設 88,406千円(内22線 16,601千円) 合計 107,195千円(内22線 17,516千円)	国庫支出金 千円 83,850 県支出金 千円 40,225 地方債 千円 69,697 その他 千円 一般財源 千円 1,290 事業費計(A) 千円 129,000		83,850	40,225	69,697	0	0	359,700
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	正規職員従事人数 人 2 延べ業務時間 時間 400 人件費計(B) 千円 1,526		2	2	2	0	0	
①業務委託と平行して、用地・補償に関する協議、交渉 ②実施設計を行い工事発注 ③現場管理(初年度以降は②からの繰返し)	トータルコスト(A)+(B) 千円		130,526	63,716	108,732	0	0	

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	⑤ 活動指標							
23年度実績(23年度に行った主な活動)	ア 道路新設済区間延長	m	100	100	600			
・測量設計 ・用地補償 ・道路新設	イ 供用開始延長	m	140	140	600			
24年度計画(24年度に計画している主な活動)	ウ							
平成23年度完了	エ							
	オ							

② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	⑥ 対象指標							
市民①市道下熊谷線を通行する学生、自転車歩行者②道路線沿線の住民・保育園児③R54ー県道稗原木次線間を通行する車両	ア 市民	人	42428	41927	41899			
③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
①交通が分散し安心安全に通行できる②(①)同様③R54~雲南市中核への渋滞緩和	ア 工事済延長	m	180	360	600			
	イ 供用済延長	m	140	140	600			
④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
安全で利便性の高い道路交通網を整備する。	ア 道路改良率	%	55.5	55.7	55.9			
	イ 生活道路が安全で便利であると感じる割合	%	58.9	57.1	55.7			

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
地域住民の交通の利便性が向上した。	交付金を財源に充当することで、雲南市の負担を軽減した。	特になし

事務事業名	市道南通り線道路新設事業	所属部	建設部	所属課	建設事業課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 道54号三刀屋大橋交差点からの相当量の車両の流入が見込めるため国道における朝夕の渋滞緩和、市道三刀屋下熊谷線の歩行者の安全確保に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 国道の渋滞緩和、学生・住民等の安全確保、整備地周辺の宅地化、街部の活性化等広域的な発展が望めるため公共事業として実施すべきと考える。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 路線の位置的・地域的要因上からバイパスの役割を持つ路線となることを見込めそれに併せ整備地域周辺の宅地化等車両の通行のみならず面的発展が望めるため対象を交通利用者・地域住民以外に拡充すべきである。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 周辺市民のより一層の理解と強力が必要。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 沿線地域の現状を考慮すると安全性・有効性の面で早期の整備が切望されるため休止できない。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はありますか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 補助率の面において当事業が有利である。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 設計基準の改定・道路構造例の緩和措置等により、今以上に安価な工法の採用が可能。但し、その際設計業務委託等の出費がかかるため委託費用を含めたランニングコスト(設計変更にかかる委託費用・維持管理)で経費節減を図るべきである。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 道路委員会等の自主組織を立ち上げれば諸調整や交渉などの時間が削減できる。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 本路線沿線の土地所有者は道路新設により従来の農地以外の目的で土地を有効利用できる事が望め、土地所有者及び地域住民に対し受益が偏りがちであるようだが、位置的・地域的要因から界限以外の市民にも多く利用して頂ける事が見込まれる路線であり対象者の特定はなく公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒ 平成23年度完了事業である																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×		低下		×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持			×																					
	低下		×	×																					
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 平成23年度完了事業である。																									